

「維新」府・市政の 8年間

「強い大阪」「大阪を変える」——橋下さんの言葉に期待された方もおられると思います。しかし、やつてきただことの実際はどうだったのでしょうか。

ごいっしょに見てみましょう

「維新政治」で廃止、削減、改悪

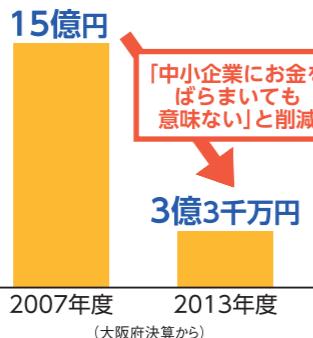
- 大阪府特設養護老人ホーム建設補助を廃止
- 高齢者住宅改造補助を廃止
- 府営住宅戸数を削減
- 国民健康保険への補助を削減
- 街かどデイハウス補助金を削減
- 障がい者福祉作業所などへの補助を削減
- 千里、大阪赤十字病院の救命救急センターの単独補助廃止
- 土砂災害対策予算を削減
- ものづくり支援関連予算を削減
- 小売・卸商業関連予算を削減
- 中小企業への融資制度を改悪
- 学校警備員補助の廃止
- 府立高校の募集停止、廃校を計画
- 私学助成を改悪
- 教育予算を8年間で8%削減（マイナス587億円）
- センチュリー交響楽団補助金を廃止
- 男女共同参画事業の削減、ドーンセンター機能縮小

大阪市

- 住吉市民病院の廃止を決定
- 民間社会福祉施設職員給与改善補助金の廃止
- 上下水道料金福祉減免の廃止
- 敬老バスの有料化
- 赤バスの廃止、市バス路線の削減
- 国民健康保険料の連続値上げ
- 市立幼稚園、保育所の民営化
- 1歳児保育特別対策費の廃止
- 新婚世帯への家賃補助の廃止
- 保育料の軽減措置の改悪

大阪市では、年収184万円のシングルマザーの国保料と国民年金保険料の負担は約40万円。引き下げてほしいのに、そのための予算を削るなんて！

ものづくり・ 商業予算は激減



「中小企業にお金をばらまいても意味ない」と削減

「公立は民業圧迫」と大阪市立幼稚園の全園民営化を計画と解雇自由特区まで計画

「5億円浮く」と住吉市民病院を廃止

“独裁”手法をもちこんで

- 「職員は市長の顔色を見て仕事をせよ」「職員は市民に命令する立場」（橋下市長）
- 憲法違反の職員思想調査
- 「都構想」を議論する法定協から反対派を排除

大切な施策の廃止や削減が続きました

大阪府や大阪市で、くらしや雇用、教育、中小企業への支援が削減されてきました。「維新」が「自分のことは自分で」「行政の役割は最少に」を政治の基本にしているのです。

「福祉を増進させる」（地方自治法）役割を發揮する府・市政への転換で、安心・安全・豊かな大阪をつくりましょう。

大切に施策の廃止や削減が続きました

「維新」は4年前、「実質成長率を年平均2%以上」というマニフェストを出しました。実際は5年間（2007～2012年度）でマイナス4%。他の経済指標も全国以上の落ち込みです。財政面でも、大阪府は借金を急増させ、国の大許可がないと借金もできない自治体に転落させられました。

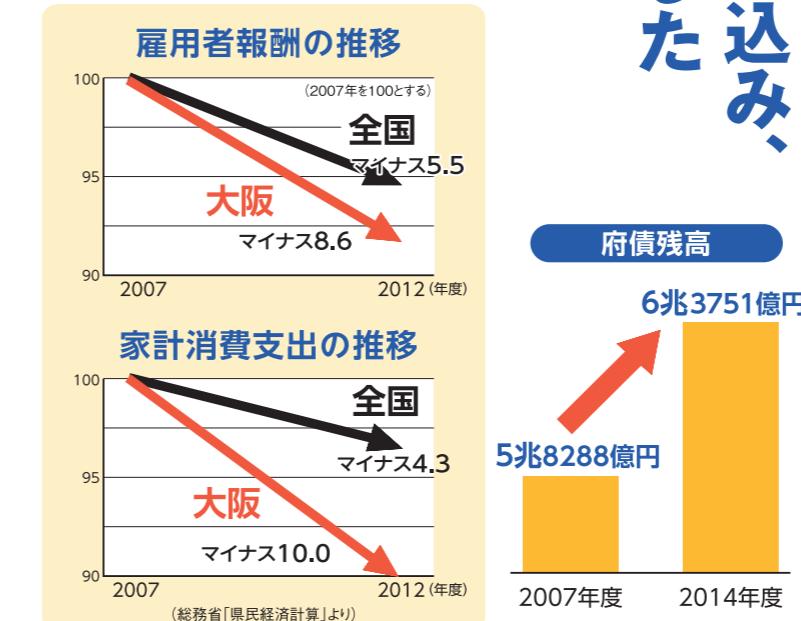
くらしと中小企業への支援で経済・財政を建て直す府政に変えましょう。

全国以上に落ち込み、 借金が増えました

「維新」は4年前、「実質成長率を年平均2%以上」というマニフェストを出しました。実際は5年間（2007～2012年度）でマイナス4%。他の経済指標も全国以上の落ち込みです。財政面でも、大阪府は借金を急増させ、国の大許可がないと借金もできない自治体に転落させられました。

くらしと中小企業への支援で経済・財政を建て直す府政に変えましょう。

経済・財政



「身を切る改革」を宣伝していますが……

「維新の党」分裂
政党助成金分捕り合戦

「維新の党」分裂
政党助成金分捕り合戦

「維新の党」の分裂騒動は、政党助成金が振り込まれる通帳の奪い合いにまで発展。橋下市長ら「大阪組」が住民投票時に使った5億円の未払い金や、ダブル選挙に使うために固執しているからと報道されています。「維新」の税金だのみの姿が鮮明です。

退職金ゼロ。実は、手取りは348万円増
知事

政務活動費の不正使用ゼロゼロ
● 発行していないチラシの配布代金
● 高級車「レクサス」のローン代
● 子どもの幼稚園送迎の入件費
● 大学の入学金
● ゴルフ「ゴンべの景品
● ダイソンの掃除機
● 電動アシスト自転車

民主主義・教育

対立あり、政争にあけくれてきました

「維新」は、敵をつくっては攻撃し、意見の違う人達を排除して強権的に政治をすすめ、民主主義をこわしてきました。選挙で勝った者が、教育目標を決めるのは当たり前」と教育介入を当然視。しかし、不祥事続出の公募校長、パワハラ府教育長、高校入試に学力テストの内申点活用……混乱を繰り返してきました。

対立から対話の政治に転換させ、みんなの力でつくる新しい大阪に前進させましょう。

